

# 資料編

# 1. 策定経過

## (1) 審議会

学識経験者と公募市民の計12人で構成され、市長の諮問により第3次基本構想・基本計画策定にかかる事項を検討・審議し、「西東京市第3次総合計画策定のための基本方針※」及び「西東京市第3次基本構想・基本計画案」を答申しました。

※資料編201ページ参照

### ■審議会委員名簿（敬称略、五十音順）

区分	氏名	役職等
学識経験	伊藤 泰彦（会長）	武蔵野大学 工学部 教授／武蔵野大学 学生部長
	河野 美晴	西東京市社会教育委員／中原小学校施設開放運営協議会 会長
	小松 真弓	地域をつなぐオフィス CEO
	佐久間 雄一	多摩信用金庫 価値創造事業部地域支援グループ 主任調査役
	篠原 京子	西東京市社会福祉協議会／地域福祉コーディネーター
	土井 隆司	武蔵野大学 しあわせ研究所 客員研究員
	中島 伸	東京都市大学 都市生活学部／大学院環境情報学研究所都市生活学専攻 准教授
	松川 紀代美	西東京商工会 会長
市民	市川 武志	
	伊藤 一雄（副会長）	
	佐々木 亮翔	大学生
	中嶋 亮太	大学生

### ■令和3（2021）年度

	開催日	主な内容
第1回	令和3年10月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員委嘱</li> <li>「西東京市第3次総合計画策定にあたっての基本方針」（諮問）</li> <li>総合計画策定のイメージと審議会の役割について</li> </ul>
第2回	令和3年11月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画策定のための基本方針について</li> <li>企業・団体等ヒアリングの調査実施について</li> </ul>
第3回	令和4年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員委嘱</li> <li>総合計画策定のための基本方針について</li> <li>グループディスカッション</li> </ul>
第4回	令和4年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画策定のための基本方針について</li> <li>市民参加の手法について</li> </ul>

### ■令和4（2022）年度

	開催日	主な内容
—	令和4年4月4日	「西東京市第3次総合計画策定にあたっての基本方針」（答申）
第5回	令和4年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想案、基本計画案」（諮問）</li> <li>市民意識調査の結果について</li> <li>市民参加の手法について</li> </ul>
第6回	令和4年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業・団体等ヒアリングの調査結果について</li> <li>市民参加の手法について</li> <li>第3次基本構想案・基本計画案の構成について</li> </ul>
第7回	令和4年9月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口推計結果の報告について</li> <li>ミライを語るシンポジウムの実施報告</li> <li>子どもワークショップの実施報告</li> <li>基本構想案の検討</li> </ul>
第8回	令和4年10月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ワークショップの実施報告</li> <li>基本構想案の構成について</li> <li>基本理念案について</li> </ul>
第9回	令和4年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加報告会の実施報告</li> <li>若手職員ワークショップの実施報告</li> <li>基本構想案について</li> </ul>
第10回	令和5年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念案について</li> </ul>
第11回	令和5年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想・基本計画（総論）案について</li> </ul>
第12回	令和5年3月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想・基本計画（総論・各論）中間のまとめ（素案）について</li> </ul>

### ■令和5（2023）年度

	開催日	主な内容
第13回	令和5年4月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想、基本計画（総論・各論）中間のまとめ（案）について</li> <li>行政サービスにおけるエリア（圏域）の再構築の検討について</li> </ul>
第14回	令和5年5月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想、基本計画案 中間のまとめ」について</li> </ul>
—	令和5年5月15日	「西東京市第3次基本構想、基本計画案 中間のまとめ」市長報告
第15回	令和5年7月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想・基本計画 中間のまとめ」について</li> <li>市民説明会実施報告</li> <li>パブリックコメント実施報告</li> </ul>
第16回	令和5年7月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>西東京市第3次基本構想・基本計画案について</li> </ul>
第17回	令和5年8月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想案、基本計画案」（答申）</li> </ul>

## (2) 庁内検討

### 【庁内検討委員会】

部長級の職員によって構成され、総合計画の策定に関して必要な事項について調査・検討しました。

#### ■令和3（2021）年度

	開催日	主な内容
第1回	令和3年10月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次総合計画策定にあたっての基本方針」の審議会への諮問について</li> <li>庁内検討体制について</li> <li>策定スケジュールについて</li> </ul>
第2回	令和4年1月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画策定のための基本方針について</li> </ul>
第3回	令和4年2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画マスタープランの検討状況について</li> </ul>

#### ■令和4（2022）年度

	開催日	主な内容
第4回	令和4年4月14日 (書面開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想案、基本計画案」の審議会への諮問について</li> </ul>
第5回	令和4年11月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想案の構成について</li> <li>基本理念案について</li> </ul>
第6回	令和4年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政サービスにおけるエリア(圏域)再構築の検討状況について</li> <li>市民参加報告会の実施報告</li> <li>若手職員ワークショップの実施報告</li> <li>基本構想案の構成について</li> </ul>
第7回	令和5年2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念案について</li> <li>基本目標案、まちづくりの課題について</li> <li>基本施策案について</li> </ul>

#### ■令和5（2023）年度

	開催日	主な内容
第8回	令和5年4月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想、基本計画(総論・各論)中間のまとめ(案)について</li> <li>「第2次総合計画・後期基本計画」からの変更点について</li> </ul>
第9回	令和5年5月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本構想の構成の整理について</li> <li>基本構想、基本計画(総論・各論)中間のまとめ(案)について</li> <li>個別計画との整合について</li> </ul>
第10回	令和5年7月4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア(圏域)における取組の推進について</li> <li>「西東京市第3次基本構想・基本計画 中間のまとめ」について</li> <li>パブリックコメント実施報告</li> </ul>
第11回	令和5年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>西東京市第3次基本構想・基本計画案について</li> <li>パブリックコメントの結果について</li> </ul>
第12回	令和6年1月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合計画の構成について</li> <li>西東京市デジタル田園都市国家構想総合戦略について</li> <li>ウェルビーイングについて</li> </ul>

### 【庁内検討部会】

課長級の職員によって構成され、総合計画の策定に関して必要な事項について調査・調整を行いました。

#### ■令和3（2021）年度

	開催日	主な内容
第1回	令和4年1月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内検討体制について</li> <li>西東京市の健康指標について</li> </ul>

#### ■令和4（2022）年度

	開催日	主な内容
第2回	令和4年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別計画の策定スケジュール</li> <li>市民参加等について</li> </ul>
第3回	令和4年8月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内プロジェクトチームについて</li> <li>人口推計結果の報告について</li> </ul>
第4回	令和4年12月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民参加の報告について</li> <li>基本構想案の構成について</li> <li>基本理念案について</li> <li>庁内プロジェクトチームからの報告について</li> </ul>
第5回	令和5年2月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本理念案について</li> <li>基本目標案、まちづくりの課題について</li> </ul>

#### ■令和5（2023）年度

	開催日	主な内容
第6回	令和5年6月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>エリア(圏域)における取組の推進について</li> <li>「西東京市第3次基本構想・基本計画 中間まとめ」について</li> </ul>
第7回	令和5年8月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想案、基本計画案」について</li> <li>個別計画との関連について</li> </ul>
第8回	令和5年10月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランドデザインについて</li> </ul>

### (3) 市民参加

第3次基本構想・基本計画の策定に向けて幅広い年代層の市民や団体、NPO、事業者等の意向を反映するため、さまざまな機会や手法を用いて意見の集約を行いました。

#### ■令和3（2021）年度

参加手法	実施日	実施場所	主な内容
市民意識調査	令和3年11月～12月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政に対する市民全体の考え方や、後期基本計画の各施策の進捗状況等に対する評価（満足度・重要度）を把握するために実施</li> <li>・住民基本台帳（令和3年10月1日現在）に登録された18歳以上の男女5,000人</li> </ul> ◇有効回答数 2,443 票（有効回収率：48.9%）
中学生まちづくりアンケート	令和3年12月	各中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う中学生を対象に、市に対する思いや10年後のまちに対する望みなどを把握するために実施</li> <li>・市内公立中学校（9校）に在籍する2年生1,374人</li> </ul> ◇有効回答数 1,218 票（有効回収率：88.6%）

#### ■令和4（2022）年度

参加手法	実施日	実施場所	主な内容
企業・団体等ヒアリング	令和4年2月～3月	田無庁舎（オンライン等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内において各分野で活動する企業・団体等を対象に、現状や課題を共有し、今後のまちづくりの方向性や取組アイデアについての意見交換を行った。</li> <li>・2～3団体程度ずつグループヒアリング（一部は個別ヒアリング）を計20回実施</li> </ul> ◇参加団体数：60 団体（うちアンケート調査のみ18 団体）
西東京市のミライを語るシンポジウム	令和4年7月2日	コール田無	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い世代に西東京市のまちづくりに関心をもってもらうため、計画策定における市民参加のキックオフイベントとしてシンポジウムを開催し、市内で活躍する若者等によるパネルディスカッション、市長と若者のトークイベントなどを実施</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に配慮し、ライブ配信を実施。また令和5年3月31日までアーカイブ配信を実施</li> </ul> ◇参加者数：来場者数 72 名 ライブ配信視聴回数 316 回



参加手法	実施日	実施場所	主な内容
子どもワークショップ	令和4年7月27日、8月3日	いこいの森公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代を担う小学5・6年生及び中学生を対象に、SDGsを学びながら西東京市への関心を深めてもらうとともに、市が目指すべき姿（将来像）やまちづくりにとって重要なテーマについて、子ども目線からの意見を把握するために実施</li> </ul> 【1日目】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsディスカバーウォークと西東京市クイズを通して、西東京市やSDGsについて学び、まちのいいところを発見し、共有</li> </ul> 【2日目】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生の節目にあわせたアンケートやグループワーク（意見交換）を通じて、西東京市の将来の姿を検討し、発表</li> </ul> ◇参加者数：10名（小学生5名、中学生5名）
第1回市民ワークショップ	令和4年8月20日 オンラインは9月7日	南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市が目指すべき姿（将来像）やまちづくりの方向性、課題解決に向けた取組やアイデアなどについて市民意見を把握するために実施</li> <li>・幅広い世代の参加を促すとともに、新型コロナウイルス感染症に配慮し、会場での対面形式とオンライン形式でそれぞれ2回ずつ実施（対面とオンラインは同様の内容で実施）</li> <li>・第1回は、人生の節目にあわせたアンケートやグループワーク（意見交換）を通じて、西東京市のこれからのまちづくりに対するコンセプトや目指すまちの姿を検討し、発表</li> <li>・第2回は、まちづくりの9つのテーマから興味のあるものを選び、グループに分かれて、現状と課題を整理した上で、市民ができる取組やアイデアを検討し、発表</li> </ul> ◇参加者数：延べ71名 【第1回】会場21名、オンライン15名 【第2回】会場21名、オンライン14名
第2回市民ワークショップ	令和4年8月27日 オンラインは9月14日	南町スポーツ・文化交流センター「きらっと」	(Content is shared with the first workshop)



参加手法	実施日	実施場所	主な内容
市民意見 提出手続 (パブリック コメント)	令和5年 6月1日～30日		<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想・基本計画案 中間のまとめ」に対して、市民意見提出手続（パブリックコメント）を実施</li> </ul> ◇提出意見数：89件（24名）
第1回 市民説明会	令和5年6月16日 14時～	向台コミュニティ センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>「西東京市第3次基本構想・基本計画案 中間のまとめ」に対する市民説明会を9箇所を実施</li> <li>計画概要をまとめたポスターを展示し、対面形式で内容を説明するとともに、来場者同士で意見交換を行う「その場 de 井戸端会議」を実施。また、アイデアボードを設置し、エリア（圏域）や総合計画「子ども版」に関するアイデア等を募集</li> </ul> ◇来場者数：145名 井戸端会議参加者数：44名 エリア（圏域）に関する意見数：12件 子ども版に関する意見数：29件
第2回 市民説明会	令和5年6月18日 10時～	防災・保谷保健福祉 総合センター	
第3回 市民説明会	令和5年6月18日 14時～	東伏見コミュニティ センター	
第4回 市民説明会	令和5年6月19日 14時～	北町コミュニティ センター	
第5回 市民説明会	令和5年6月20日 18時30分～	谷戸公民館	
第6回 市民説明会	令和5年6月21日 10時～	芝久保公民館	
第7回 市民説明会	令和5年6月21日 18時30分～	富士町市民集会所	
第8回 市民説明会	令和5年6月22日 18時30分～	インゲビル	
第9回 市民説明会	令和5年6月24日 14時～	ひばりが丘公民館	



## 2. 西東京市第3次総合計画策定のための基本方針 (西東京市総合計画策定審議会答申 令和4年4月4日)

### 1 はじめに

西東京市は、平成13(2001)年1月に田無市と保谷市が合併して誕生し、2021年には20周年を迎えました。

その間、都心にアクセスしやすい地理的条件を活かし、身近に豊かな自然や農を感じられる郊外の住宅都市として発展してきました。全国的には人口減少が進むなか、本市の人口は、これまで増加傾向が続いてきましたが、人口構造をみると少子高齢化は着実に進行しつつあり、将来的には人口減少に転じることが見込まれています。一方、本市を取り巻く社会経済情勢は、自然災害の激甚化・頻発化、地球規模の環境問題の深刻化、社会インフラの老朽化、新たな感染症拡大への対応など、これまでになく複雑かつ多様に変化しつつあります。

こうした変化や想定される危機に対応するためには、これまでの市政運営を見直し、必要に応じて大胆に方向性を転換することも視野に入れ、新たなまちづくりの方向性について長期的な視点から戦略的に考えていくことが必要です。

現行の第2次総合計画が令和5(2023)年度をもって終了することから、市と市民が基本理念と将来像を共有し、その実現に向けて、ともに取り組んでいくための指針として「西東京市第3次総合計画」を策定するための考え方をここに定めます。

### 2 総合計画に関する基本的な事項

#### (1) 計画の位置づけ

総合計画は、市政運営の基本指針となり、すべての計画の最上位に位置づけられる計画です。平成23(2011)年の地方自治法の改正により、地方自治体が基本構想を策定する義務づけがなくなりましたが、総合的かつ計画的な市政運営を行うためには、行政のあらゆる分野を網羅し、中長期的な視点で方向性を示す指針が必要不可欠なため、市の条例に定めて策定しています。

一方、平成26(2014)年に「まち・ひと・しごと創生法」が公布され、市町村においては「総合戦略」を策定することが努力義務化されました。総合戦略は将来的な人口を見据え、人口減少や少子高齢社会に対応するための5か年の戦略であり、西東京市においても、平成28(2016)年3月に「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。また、平成31(2019)年3月に策定した「西東京市第2次総合計画・後期基本計画」では、総合戦略を内包する形として整理しました。

これらの経緯を踏まえ、新たに策定する第3次総合計画においても、総合戦略で示すべき目標や施策との関係性を明確にしながら、総合戦略を内包した総合計画とします。

#### (2) 総合計画の構成

総合計画は、まちづくりの長期的ビジョンとして、目指すまちの姿とその実現のための基本的な方向性を示す必要があるとともに、社会経済情勢や財政状況の変化に対応していくことも必要であることから、基本構想、基本計画、実施計画の3層構造で構成し、それぞれ以下のようにすべきと考えます。また、内包する総合戦略は、下図のように位置付けられます。

##### ① 基本構想

基本構想は、まちづくりの基本的な理念や、目指すべき都市像や将来の基本目標・まちづくりの方向などを示し、長期的な視野に立ったまちづくりのビジョンを定めます。

##### ② 基本計画

基本計画は、基本構想を実現するための施策体系を示すもので、各施策の領域における市の現状や課題、今後の方向を示し、施策を総合的に運営するための計画となるものです。

##### ③ 実施計画

実施計画は、基本計画で示した施策体系に基づく具体的な事業計画で、財政の裏づけをもって計画的に進めていく事業をまとめたものです。基本構想・基本計画に示したビジョンや施策は、この実施計画で事業として具体化されることとなります。

##### ④ 総合戦略

総合戦略は、将来的な人口減少や少子高齢社会に対応するための戦略です。本市の「西東京市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、第3次総合計画に内包します。

### (3) 総合計画の期間

総合計画の期間は、現行の総合計画との整合性や継続性を踏まえ、それぞれ以下のようにすべきと考えます。

- ① 基本構想・基本計画は、令和6年度を初年度とし、10年間を計画期間とします。
- ② 基本計画は、社会経済情勢の変化に対応するため、中間年次（5年後）に後期基本計画として見直しを行うものとします。
- ③ 実施計画は、3年間を計画期間とし、財政状況の変化等を勘案して毎年度策定します。

### (4) 検討体制

総合計画の策定にあたっては、市長の諮問に応じて西東京市総合計画策定審議会が総合計画の策定に関して必要な事項の調査、審議を行い、市長に答申します。

庁内の検討体制としては、庁内検討委員会を設置し、総合計画策定に必要な事項を調査、検討するとともに、個別計画との整合性を図るため、庁内各課と事務局の調整を担う体制を整備します。

## 3 計画策定にあたっての基本的な考え方

### (1) これからのまちづくりに求められる基本的な視点

西東京市がより成長していく自治体となるためには、市民一人ひとりが、このまちで暮らし続けたい、長く地域とかかわっていたい、そのように思えることが大事です。行政と市民が一体となってSDGs（持続可能な開発目標）の達成とその後の目標維持に向けた取組を推進するとともに、日々の生活の様々な場面で「人とのつながり」「あたたかみ」「充実感（やりがい）」、そして「安心」を実感できるまちにしていくことが不可欠です。

主役としての多様な「市民」、市民が社会の一員として主体的にかかわる「まち」、まちづくりに関わる様々な要素を連携・活用する「仕組み」など、それぞれの立場から、これからのまちづくりに必要な基本的な視点を以下に掲げます。

- ① 地域への「誇りや愛着」を育む ～たから～
  - ・地域の良さ（宝物）や歴史（物語）を知り、より良い地域とする意識を育む
  - ・地域の資源を活かしたまちづくりを進める
  - ・西東京市らしさを創出し、より一層魅力を感じることができる
- ② 一人ひとりが「自分らしく」生きることができる ～らしさ～
  - ・障害の有無・ジェンダー・言葉や文化など、多様性に関する視点を持つ
  - ・誰もが一人ひとり認められ、大事にされる社会をつくる
  - ・個々の価値観やライフスタイルにあった暮らしを実現できる
- ③ 互いの「つながり」によりささえあう ～つながり～
  - ・互いにささえあうことで、日々の安心を感じることができる
  - ・様々な立場の人を受け止め、ゆるやかにつながる社会をつくる
  - ・周辺の地域や自治体と連携し、課題解決に向けて取り組む
- ④ 楽しみや「いきがい」を見出せる ～いきがい～
  - ・日々の暮らしが充実し、心の豊かさを実感できる
  - ・身近に楽しめる空間やコト（イベントなど）がある
  - ・子どもから大人まで、地域の中に自分の「居場所」や「出番」がある
- ⑤ 変化や危機に「柔軟」に対応する ～そなえ～
  - ・激甚化する自然災害や感染症などに備える
  - ・進展する少子高齢化に柔軟に対応することができる
  - ・毎日を安全・安心に暮らすことができる住環境を整える
- ⑥ 「次世代」につなげる ～みらい～
  - ・未来に向けて一人ひとりができることに取り組む
  - ・未来を見据えた持続可能なまちづくりを進める
  - ・若者たちが10年先、20年先も住み続けたい、いつか戻ってきたいと思える
  - ・脱炭素社会の実現に向けた取組を進める

### (2) 総合計画策定における市民参加の重要性

総合計画は10年先の西東京市のビジョンとまちづくりの方向性を描く市の最上位計画であるため、計画の策定過程で多様な立場の市民と関わり、市民が共感できる計画とすることが求められます。

西東京市では「西東京市市民参加条例」を制定し、市民の意向を市政に反映させる仕組みづくりを進めてきました。また、市内では主体的な市民活動が活発に行われています。総合計画の策定に当たっては、そうした市民活動団体との連携も含め、以下の考え方を踏まえた市民参加の工夫が必要です。

- ① 多様な世代や立場の人との関わり
  - ・未来の西東京市の担い手となる子ども（小学生、中学生、高校生）や大学生、若者世代
  - ・それぞれの活動分野での知識・経験がある市民や市民活動団体
  - ・これからの地域参加が期待される働き盛りの現役世代
  - ・支援やサポートが必要だが声をあげにくい外国人や社会的マイノリティ、高齢者
- ② つながりや関係づくりを重視した市民参加プロセスによる参加機会の拡大
  - ・人とつながるアクションやプロセス自体も市民参加として活かす
  - ・意見を聞きたいところ（学校や活動団体など）に向かう
  - ・市民参加の場に出てこれない人へのアプローチを工夫する
  - ・市民参加を通して世代や学年を超えた交流を生む
- ③ 学びや気づきを得られ、主体的な参加につながる仕組みづくり
  - ・地域の良さや必要な情報を知ることができる
  - ・世代や立場が異なる人の意見を知り、新たな発想につなげる
  - ・計画の実現に向けて、市民が主体的にできることに取り組む

### (3) 計画策定にあたっての留意事項

- ① 人口推計を反映した計画づくり  
全国的な人口減少のなか、コロナ禍の影響もあり、多摩地域においても人口増加数が減少傾向となっており、人口減少局面への転換の動きが見られます。総合計画の策定にあたっては、行政サービスの需要と供給のバランスを把握する必要があるため、将来の人口の動向を推測し、施策や事業の方向性、行政サービスの需要量、施設の整備などを判断する際の基礎資料として人口推計の活用を図る必要があります。
- ② 戦略性を持った計画づくり  
総合計画は、市のまちづくりの方向性を示す最上位計画として、政策・施策の方向性を網羅的に示すだけでなく、戦略性を持った計画とする必要があります。  
高齢化に伴う社会保障費の増大、公共施設等をはじめとする社会資本の老朽化等により、今後はより厳しい財政状況になることが予測されます。そのため、今後は限られた経営資源を効果的に投入していくための戦略が必要不可欠となります。  
施策・事業の取捨選択や優先順位付け、新たな考え方や仕組みを取り入れた未来に繋がる投資など、戦略性を持った計画を策定する必要があります。
- ③ 高い実効性が確保される計画づくり  
総合計画の策定に当たり、改めて行政が果たすべき役割を再確認し、行政サービスのあり方や組織としてのあり方を見直すとともに、より実効性のある計画とするため、行財政改革に一体的に取り組む必要があります。  
質の高い行政サービスを維持・向上させ、持続可能な形で提供し続けるためには、健全な行財政基盤を構築することが必要不可欠です。また、多様化・複雑化する市民ニーズにきめ細やかに応えるためには、行政サービスだけでは限界があり、多様な主体や周辺自治体との連携・協働により、地域課題の解決に取り組んでいくことが求められます。

### 3. 成果指標一覧

施策番号	成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値 (令和15年度)	総合 戦略 指標	健康 指標
1-1	自治会・町内会等の加入世帯数	20,292 世帯	20,292 世帯	20,350 世帯	●	●
	自治会・町内会の活動は、住民自治推進の柱であるため、加入世帯数を市民主体のまちづくりの目標とします。					
1-1	ふれあいのまちづくり地域活動拠点の利用登録団体数、延べ利用者数、延べ利用回数	72 団体 7,306 人 1,266 回	94 団体 17,196 人 2,950 回	102 団体 18,579 人 3,150 回	●	●
	ふれあいのまちづくりでは、市民が地域活動を目的として利用できるよう活動拠点を整備し、地域活動を活性化します。					
1-1	地域協力ネットワークの参加団体数	187 団体	200 団体	220 団体	●	●
	地域団体相互の連携協力体制を強化し、安全・安心なまちづくりを推進するため、より多くの団体の参加を得て4つのネットワークの更なる活用を目指します。					
1-1	市民交流施設の利用件数、利用人数	18,726 件 157,583 人	19,000 件 160,000 人	20,000 件 180,000 人	●	●
	地域社会における市民交流の機会の増加が健康増進に寄与すると考え、現状の利用件数及び利用人数を維持します。					
1-1	ボランティア・市民活動センター登録者数	415 人	536 人	559 人	●	●
	市民のボランティア活動を活性化するため、ボランティアに関するコーディネートなどを行い、ボランティア登録者数を増やします。					
1-2	企業・大学・NPOなどとの協働事業等の数	120 件	155 件	170 件	●	●
	企業・大学・NPO等との協働事業の拡充がまちづくり推進の力となるため、団体等との協働事業等の数を増やします。					
2-1	人権や平和に関する啓発活動・学習活動への参加者数	83 人	950 人	1,200 人		
	人権意識を高め、平和を尊重するためには、啓発や学習活動が重要であるため、これらの活動の参加者を増やします。					
2-1	「人権と平和の尊重」の取組に対する市民満足度	19.7% (令和3年度)	21.5%	23.0%		
	市が行っている「人権と平和の尊重」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
2-2	多文化共生に関するボランティア数	365 人	465 人	540 人		
	外国人と日本人がともにまちの発展に向けて参加・活躍できる多文化共生社会の実現に向けて、外国人と地域をつなぐボランティアを増やします。					
2-2	多文化キッズサロン参加者数	-	50 人	75 人		
	日本語を母語としない子どもが学習・相談・交流できる地域の拠点となる「多文化キッズサロン」に参加しやすい環境を整えます。					
2-3	「男女平等参画社会の推進」の取組に対する女性の満足度	16.0% (令和3年度)	16.7%	17.2%	●	
	市が行っている「男女平等参画社会の推進」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
2-3	男女平等推進センター「バリテ」登録団体数	20 団体	26 団体	31 団体	●	●
	男女平等参画推進の拠点としての男女平等推進センター「バリテ」の登録団体数を増やします。					
2-3	女性相談件数	332 件	550 件	650 件	●	●
	男女平等の視点に立ち、問題解決の糸口を見出すことを支援する「女性相談」の利用件数を増やします。					
2-3	配偶者等から暴力を受けたときに、市の相談窓口相談した人の割合	6.6%	8.0%	9.0%	●	●
	身近な相談機関として市の相談窓口を利用してもらえるよう、相談した人の割合を高めます。					
3-1	市ホームページの閲覧数	19,003,583 件	22,085,000 件	22,748,000 件		●
	SNS等を活用した効果的な情報発信によりホームページの閲覧数を増やします。					
3-1	「暮らしの相談機能の充実」の取組に対する市民満足度	19.4% (令和3年度)	20.0%	24.8%		
	市が行っている「暮らしの相談機能の充実」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
3-2	経常収支比率	93.1%	90.0%	90.0%		
	経常収支比率が低いほど財政の弾力性があるとされています。財政の健全性を高めるため、経常収支比率の改善に取り組みます。					
3-2	「第5次行政改革大綱アクションプラン」に基づく実施項目の進捗率	65.8%	80.0%	80.0%		
	第5次行政改革大綱アクションプランに取り組み、「A評価(取組が順調に進んでいる)」の項目を多く達成します。					

施策番号	成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値 (令和15年度)	総合 戦略 指標	健康 指標
3-2	公共施設の更新費用等(イニシャルコスト)の推計額と比較した実際の更新費用等の縮減率	-	3,745,000千円 縮減率 5%	7,490,000千円 縮減率 10%		
	現存敷地の有効活用や公共施設の複合化等を積極的に検討する等、効果的・効率的な更新等の手法を用いることで、更新等費用の【10%縮減】を目指します。					
3-3	行政手続のオンライン受付件数	947,273 件	1,000,000 件	1,050,000 件	●	
	西東京市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例第1条及び第7条により行政手続のオンライン化を推進し、利便性の向上を図ります。					
3-3	マイナンバーカードの所有者数	134,883 人	187,236 人	194,736 人	●	
	マイナンバーカードの普及、コンビニエンスストアでの証明書取得を推進するため、交付枚数を増やします。					
3-3	市内の公衆無線LAN設置箇所数	8 拠点	29 拠点	41 拠点	●	●
	市民の自主的な文化活動や社会教育活動、子どもの学習環境の場を整備するとともに、行政情報の発信や災害時の情報共有ができるインフラ環境の充実を図ります。					
3-3	オープンデータ化した行政情報の件数	10 データセット	34 データセット	39 データセット	●	
	行政の高度化・効率化・透明性の向上とともに、官民協働での諸課題の解決など、社会全体の生産性向上に資するものとして、オープンデータの拡充を推進します。					
4-1	青少年育成会における地域活動への小中学生参加人数	14,234 人	20,000 人	22,075 人	●	
	世代間を越えた交流の場である青少年育成会における地域活動への参加人数を高めます。					
4-1	「地域における子どもの居場所づくり」に対する市民満足度(子どもがいる市民)	31.8% (令和3年度)	35.0%	39.8%	●	
	市が行っている「地域における子どもの居場所づくり」の取組に対する、子どもがいる市民の満足度向上を目指します。					
4-2	子ども相談室(ほっとルーム)の認知度(子ども)	-	73.0%	76.0%	●	●
	子ども自身が必要ときに安心して相談できるよう、子ども相談室(ほっとルーム)の認知度を向上させます。					
5-1	「出産・育児などの子育て支援環境の充実」に対する市民満足度(子どもがいる市民)	35.3% (令和3年度)	38.8%	43.6%	●	●
	市が行っている「出産・育児などの子育て支援環境の充実」の取組に対する、子どもがいる市民の満足度の向上を目指します。					
5-1	合計特殊出生率	1.1 (令和3年度)	上げる	上げる	●	●
	その年の15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその生涯に生むことが見込まれる子どもの数					
5-2	保育施設の待機児童数	7 人	0 人	0 人	●	●
	認可保育施設及び認可外保育施設等を確保し、待機児童の解消を目指します。					
5-2	学童クラブの定員超過率	137.3%	下げる	下げる	●	●
	学童クラブ施設を確保し、定員超過率を下げることを目指します。					
6-1	文部科学省「全国学力学習調査」における学校に行くのは楽しいと思う割合	小学校: 82.8% 中学校: 80.3% (令和3年度)	小学校: 80%以上 中学校: 80%以上	小学校: 80%以上 中学校: 80%以上		
	「全国学力学習調査」(文部科学省)における「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対し「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の合計が80.0%以上を継続します。					
6-1	スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における体力合計点(小学校)	男子: 53.2 女子: 55.2	全国平均値以上を継続する	全国平均値以上を継続する		
	調査で実施する8種目の数値を得点化(1種目当たり10点)した合計点(80点満点)の全国平均値以上を継続します。					
6-1	スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における体力合計点(中学校)	男子: 40.1 女子: 47.1	全国平均値以上を継続する	全国平均値以上を継続する		
	調査で実施する8種目の数値を得点化(1種目当たり10点)した合計点(80点満点)の全国平均値以上を継続します。					
6-1	スクールソーシャルワーカーの活動実績	3,318 回	4,424 回	4,977 回		
	子どもが直面する学校内だけでは解決困難な課題に、関係機関と連携して、課題の背景に働きかけ、解決への支援を図ります。					
6-1	学校施設更新の実施延べ件数	-	2 件	7 件	●	
	学校施設の老朽化対策、教育環境の質的向上と安全・安心の確保のため策定した「建替・長寿命化及び大規模改造等計画」に取り組みます。(令和6年度から15年度の実施延べ件数)					
6-2	地域教育協力者活用事業数	219 事業	240 事業	264 事業	●	●
	学校・家庭・地域の連携において重要な役割を果たす地域教育協力者を活用した事業を増やします。					

施策番号	成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値 (令和15年度)	総合 戦略 指標	健康 指標
7-1	地域福祉推進員(ほっとネット推進員)の登録者数	431人	506人	581人	●	●
	地域の力で地域の課題を解決する、ほっとするまちネットワークシステム活動をさらに発展させるため、推進員の登録者数を増やします。					
7-1	福祉サービス第三者評価の受審事業所数	83事業所	98事業所	113事業所		
	福祉サービスの質がより向上するよう、第三者評価の受審事業所数を増やします。					
7-1	地域福祉コーディネーター相談件数	1,331件	1,603件	1,875件	●	
	地域課題についての、地域福祉コーディネーターの相談対応件数を増やします。					
7-2	ささえあい協力員・ささえあい訪問協力員の登録者数	1,813人	2,030人	2,230人	●	●
	市民、事業所、民生委員、地域包括支援センター、市が連携する、ささえあいネットワークの充実に向け、協力員、訪問協力員を増やします。					
7-2	地域包括支援センターの認知度	57.6%	62.4%	64.8%	●	
	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続ける上で、気軽に相談できる場がわかるよう、地域包括支援センターの認知度を向上させます。					
7-2	医療と介護は連携していると思う割合	40.7%	60.0%	65.0%	●	
	医療と介護を必要とする高齢者が、安心して最期まで在宅療養を続けられるよう、医療と介護の連携を促進します。					
7-2	自立している高齢者の割合	78.3%	78.1%	78.0%	●	●
	65歳以上の高齢者が自立して暮らせるよう努めます。					
7-3	グループホーム等の利用者数	317人	664人	769人	●	
	自立をめざす障害者が住み慣れた地域に移行して暮らしていくためのグループホームの利用者数を増やします。					
7-3	地域活動支援センターの登録者数、利用延べ人数、相談件数	304人 9,093人 11,230件	337人 13,352人 20,444件	357人 13,592人 31,863件	●	●
	自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援や相談支援事業を実施し、登録者数等を増やします。					
7-3	放課後等デイサービスの利用者数	358人	468人	591人	●	
	放課後や休日等に自立した日常生活を営むことができるよう訓練を受けることは重要であり、放課後等デイサービスの利用者数を増やします。					
7-4	「社会保障制度の運営」の取組に対する市民満足度	17.8% (令和3年度)	18.6%	20.0%	●	
	市が行っている「社会保障制度の運営」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
7-4	生活困窮者自立支援の取組により就労した人数	50人	52人	54人	●	●
	生活サポート相談窓口での相談者が一般就労することに取り組みます。					
8-1	がん検診受診率	胃がん：4.8% 大腸がん：29.6% 肺がん：6.8% 乳がん：23.9% 子宮頸がん：19.0% (令和3年度)	胃がん：5.1% 大腸がん：31.1% 肺がん：7.2% 乳がん：25.1% 子宮頸がん：20.0%	胃がん：5.3% 大腸がん：32.6% 肺がん：7.5% 乳がん：26.3% 子宮頸がん：20.9%	●	●
	がんで死亡する日本人は多く、がんの早期発見を推進するため、がん検診の受診率を高めます。					
8-1	健康教育(講座)の参加者数	940人	960人	980人	●	●
	成人(18歳以上)を対象とした生活習慣病予防や健康づくり教室の回数、参加者数を増やします。					
8-1	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合	該当者：19.1% 予備群：11.1%	該当者：18.3% 予備群：10.6%	該当者：17.2% 予備群：10.0%	●	●
	特定健診受診者のうち、内臓脂肪症候群該当者と予備群の割合を下げます。					
8-1	適正体重を維持している人の割合	65.5%	68.8%	72.1%	●	●
	一般健診、特定健診受診者のうち、BMIが18.5以上25未満の割合を上げます。					
8-1	睡眠による休養を取れている人の割合	59.0% (令和5年度)	63.0%	67.0%	●	●
	特定健診受診者のうち、睡眠で十分休養が取れていると回答した割合を上げます。					
8-2	高齢者生きがい推進事業への参加延べ人数	5,783人	11,000人	11,500人	●	
	高齢期の生活を健全で明るく豊かなものとするため、高齢者生きがい推進事業への参加者数を維持します(一般会計で実施する事業に限る)。					

施策番号	成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値 (令和15年度)	総合 戦略 指標	健康 指標
8-2	介護支援ボランティアのポイント付与延べ人数	231人	408人	528人	●	●
	高齢者の社会参加による介護予防と地域交流の仕組みづくりのため、ボランティア活動でポイントを付与された介護支援ボランティアを増やします。					
8-3	就労援助事業に登録して一般就労した人数	377人	680人	936人	●	
	障害のある人がそれぞれの知識・スキルを活かした就労を実現するため、就労援助事業に登録して一般就労した人数を増やします。					
8-3	障害者(児)スポーツ事業への参加延べ人数	178人	501人	653人	●	
	障害者(児)が地域でいきいきと暮らし、スポーツ活動を楽しむことができる事業の参加者数を増やします。					
8-3	就労定着支援の利用者数	73人	209人	369人	●	
	一般就労した障害のある人の就労の定着を図るため、就労定着支援の利用者を増やします。					
9-1	公園ボランティア登録会員数	941人	1,180人	1,400人	●	●
	公園のみどりを保全する上で重要な担い手となる公園ボランティア登録会員数を増やします。					
9-1	「花いっぱい運動」で年間に植え付けた花壇数	31箇所	34箇所	37箇所	●	
	身近なみどりを創出するため、公園や広場の花壇への花いっぱい運動で植え付けた花壇数を増やします。					
9-1	市民や民間事業者等が中心となって管理する公園・緑地・オープンスペースの数	76箇所	81箇所	86箇所	●	
	市民や民間事業者等が中心となって管理する公園・緑地・オープンスペースの数を増やします。					
9-2	「市内の公園利用」に対する市民満足度	48.9% (令和3年度)	52.9%	56.9%	●	
	市が行っている「公園行政」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
9-2	補助金の交付を受けて造成された生垣等の長さ(累計)	2,287m	2,527m	2,677m	●	●
	みどりを創出するため、緑と花の沿道の推進事業補助制度により、民有地の緑化を推進します。					
9-2	市民一人当たりの公園面積	1.88㎡	1.94㎡	2.00㎡	●	●
	市立公園・緑地と都立公園をあわせて、市民一人当たりの公園面積を増やします。					
10-1	環境学習講座への参加者数	533人	2,900人	3,500人		
	市民の環境意識の啓発を図るために、子どもから大人までが参加できる環境学習講座を実施し、参加者の維持に努めます。					
10-1	市内のエネルギー消費量	5,527TJ (令和2年度)	4,145TJ	3,281TJ		
	地球温暖化を防止するため、市内から発生するエネルギー消費量を削減します。					
10-1	市の事務事業からの温室効果ガス排出量	10,723t-CO <sub>2</sub>	6,392t-CO <sub>2</sub>	3,600t-CO <sub>2</sub>		
	事業所としての西東京市の公共施設や公用車から排出される温室効果ガスの排出量を削減します。					
10-2	一人当たりのごみ収集量(ごみ原単位)	529.5g	520.0g	516.8g		●
	ごみの発生抑制や減量化を推進する上で、1人1日当たりのごみ収集量を把握することで、減量対策の目標とします。					
10-2	資源化率	32.4%	33.0%	33.2%		●
	一般廃棄物処理基本計画の目標推計値を達成できるよう、資源化に取り組みます。					
10-2	ごみ排出総量	32,967t	32,203t	31,739t		●
	一般家庭から排出されるごみの減量とともに、事業系可燃ごみの減量にも取り組みます。					
10-2	食品ロスに係る出前講座の実施回数	2回	18回	20回		
	「もったいない」の気持ちを養うため、出前講座等の実施に取り組みます。					
10-3	「生活環境の維持」の取組に対する市民満足度	25.4% (令和3年度)	29.0%	30.4%		
	市が行っている公害対策などの「生活環境の維持」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
10-3	公害の苦情受付件数	66件	60件	55件		
	大気汚染や河川水質等の定期的な調査を行い、市民生活の安心を高め、公害に関する苦情受付件数を減らします。					

施策番号	成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値 (令和15年度)	総合 戦略 指標	健康 指標
11-1	地区計画決定数(累計)	9地区	11地区	12地区		●
	地域の特性に合った住環境等を実現するため、まちづくりの一つの手法である地区計画の決定に取り組みます。					
11-1	助成金の交付を受けて耐震診断・耐震改修等(耐震化)された戸数	11戸	11戸	11戸		●
	住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、耐震化を促進する取組を進めます。					
11-1	空き家等想定件数	870件	870件	870件		
	適切な管理がされていない空き家等が、防災、衛生、景観等の生活環境に影響を与えないよう努めます。					
11-2	都市計画道路整備率	48.4%	55.1%	57.9%		●
	住みやすいまちづくりのためには、効率的な道路ネットワーク形成が必要なことから、引き続き都市計画道路の整備を進めます。					
11-2	無電柱化路線整備率	6.6%	8.6%	9.1%		●
	都市防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保及び良好な都市空間の創出に向け、市内の道路で無電柱化を進めます。					
11-3	はなバスの輸送人員	2,665人	3,607人	3,607人	●	●
	路線バスではカバーしきれない公共交通空白・不便地域の解消のために運行しているはなバスの1日当たりの輸送人員を増やします。					
11-3	駅周辺の自転車駐車場収容可能台数	17,816台	増加	増加	●	●
	自転車駐車場の利用需要の高い駅周辺地域において、新たな自転車駐車場の整備や運用方法の工夫により、自転車の利用環境を改善します。					
11-3	市道への自転車ナビマーク・ナビラインの整備路線数	13路線	増加	増加	●	●
	自転車の利用環境と安全性向上のために、市道への自転車ナビマーク・ナビラインの整備路線数を増やします。					
12-1	防災市民組織の数	94組織	150組織	150組織	●	●
	地域における防災活動において、市民が参加する自助・共助の意識をもった地域での防災市民組織の数を増やします。					
12-1	総合防災訓練等への参加延べ人数	1,661人	10,000人	10,000人	●	
	市民及び事業者の防災意識や地域防災力の向上のため、総合防災訓練や防災講話等への参加者を増やします。					
12-1	「災害に強いまち」の取組に対する市民満足度	20.6% (令和3年度)	24.1%	26.6%	●	
	市が行っている「防災訓練など各訓練」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
12-2	市内の指定重点犯罪認知件数	103件	削減	削減		●
	安全・安心なまちづくりのため、防犯パトロールをはじめイベントや講話で市民及び事業者の防犯意識を高め、犯罪件数を減少させます。					
12-2	市内で発生した交通事故の件数	211件	削減	削減		●
	交通安全施設の整備や関係機関との連携による交通安全の取組を実施し、交通事故の削減を目指します。					
12-2	「地域パトロール強化などの防犯対策」に対する市民満足度	26.3% (令和3年度)	27.4%	28.8%		
	市が行っている「パトロールなどの防犯対策」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
12-2	消費生活講座・講演への参加延べ人数	103人	103人	150人		
	消費者トラブルの未然・拡大防止、消費生活に関する啓発を図るため、消費生活に関わる講座の受講者数を増やします。					
13-1	市内における農業産出額(農家1戸当たり平均)	4,978千円	5,842千円	7,489千円	●	
	農業経営の促進や都市農業の魅力向上に向けて、市内における農業産出額の確保に努めます。					
13-1	農地面積	117.6ha	110.7ha	99.0ha		●
	令和14(2032)年に特定生産緑地の多くが買取申出の時期(指定から10年)を迎えることもあり、農地面積の減少を抑えます。					
13-1	「めぐみちゃんメニュー」認定数(累計数)	278品	338品	388品	●	
	飲食店において市内産農産物を活用したメニューを提供し、地域経済の活性化を促進することを目的に、メニューの認定数を増やします。					
13-1	市内事業所数	4,921事業所	5,071事業所	5,221事業所	●	●
	中小企業が起業・創業できる環境を整え、市内で新たに起業・創業を目指す人を支援し、商工業者を増やします。					

施策番号	成果指標	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値 (令和15年度)	総合 戦略 指標	健康 指標
13-1	一店逸品認定数(累計)	245商品	365商品	485商品	●	
	本市における地域ブランドを市内外に広くPRし、入りとなる店づくりへとつなげる認定制度を実施し、個店独自の「逸品」を確立します。					
13-2	創業者数(累計)	169件	289件	389件	●	●
	中小企業が起業・創業できる環境を整え、市内で新たに起業・創業を目指す人を支援し、商工業者を増やします。					
13-2	チャレンジショップを利用した事業者の件数(累計)	57件	86件	111件	●	●
	市内の空き店舗での創業支援及び空き店舗の有効活用を図るため、チャレンジショップを利用した事業者を増やします。					
13-2	ハンサムママプロジェクト参加者数、満足度	499人 98.4%	500人 90%以上	550人 90%以上	●	●
	出産・育児により離職中の女性を中心に、働く行動のきっかけとなる満足度の高い事業を実施し、女性の起業者を増やします。					
14-1	「まち歩き」事業に参加した人数(年間)	826人	5,500人	6,000人	●	
	近隣市との連携等により、地域ブランド等を活用した「まち歩き」事業を実施し、市民の参加を募ります。					
14-1	西東京市に住み続けたい、住みたいと思う人の割合	64.2% (令和3年度)	65.4%	66.3%	●	●
	西東京市の住み心地に満足している人の割合の向上を目指します。					
14-1	地域ブランド調査における魅力度ランキング	都内26市中 22位 (令和5年度)	都内26市中 15位	都内26市中 10位内	●	
	まちのイメージ向上につながる事業・イベントの情報発信により、市の魅力度ランキングを向上させます。					
15-1	公民館事業への参加者数	10,869人	11,000人	13,000人	●	●
	市民の学習活動へのニーズも多様化しており、公民館事業への参加者数を維持します。					
15-1	図書館資料の貸出者数	843,109人	844,000人	845,000人	●	●
	図書館資料の貸出者数を増やします。					
15-1	日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合	62.3%	63.7%	65.0%	●	
	日常的に、何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合を増やします。					
15-2	スポーツ施設利用者数、利用団体数	604,780人 2,474団体	583,844人 2,970団体	755,975人 3,092団体	●	●
	より多くの市民がスポーツ活動に参加できるように、スポーツ施設利用者数を増やします。					
15-2	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,330人	1,600人	1,862人	●	
	総合型地域スポーツクラブの定着を図り、地域におけるスポーツ環境の整備・充実を図るため、会員数を増やします。					
15-2	「スポーツ活動・イベント機会や施設整備の充実」に対する市民満足度	27.8% (令和3年度)	33.5%	34.9%	●	
	市が行っている「スポーツ活動・イベント機会や施設など生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進」の取組に対する市民満足度の向上を目指します。					
15-3	文化芸術に関するボランティアの登録者数	490人	530人	550人	●	
	市民が主体的に行う文化芸術活動の機会の充実を図るため、文化芸術に関するボランティアの登録者数を増やします。					
15-3	市内で行われる文化芸術に関するイベントに参加した市民及び子どもの割合	市民: 45.3% 子ども: 54.2%	市民: 60.0% 子ども: 60.0%	市民: 65.0% 子ども: 65.0%	●	
	文化芸術に関するイベントの充実や効果的な情報発信等に取り組み、市内で行われる文化芸術に関するイベントに参加した市民及び子どもの割合を増やし、地域への愛着や誇りを醸成します。					
15-3	郷土資料室への年間入場者数	2,165人	2,583人	3,000人	●	
	郷土資料への理解や文化財保護意識の醸成に向け、郷土資料室への年間入場者数を増やします。					
15-3	市民文化祭の来場者及び参加者数	来場者数 6,561人 参加者数 2,081人	来場者数 11,500人 参加者数 3,100人	来場者数 12,000人 参加者数 3,200人	●	●
	市民文化祭は、市民の文化芸術活動の向上並びに市民相互の交流を目的としており、活動団体及び来場者を増やします。					
15-3	文化財の調査研究による新たな指定等の延べ件数	4件	5件	6件	●	
	市域に存在する文化財を調査し、そのうち重要なものを指定するなど、計画的な文化財の指定等に向けた調査・検討を進めます。					

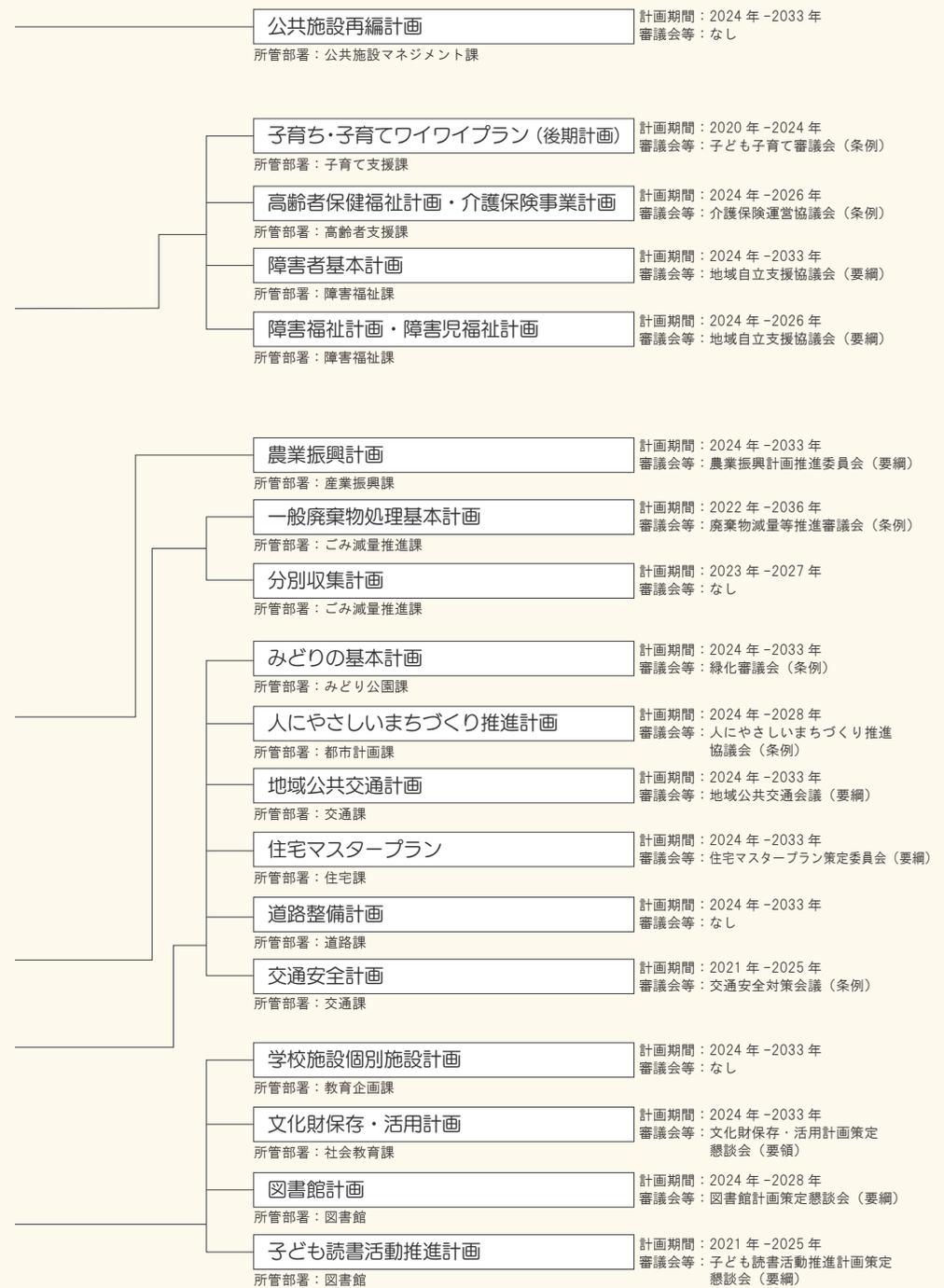
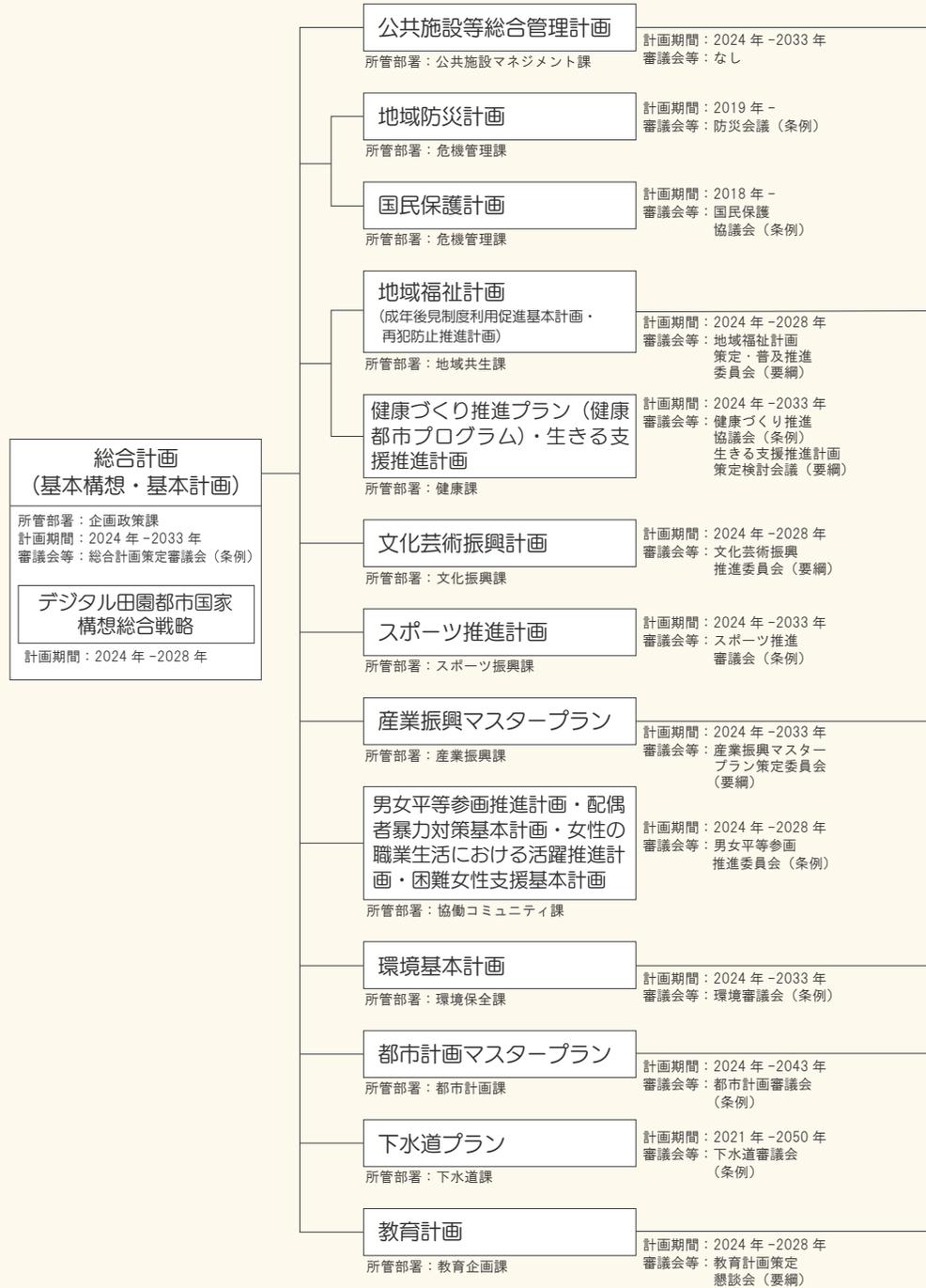
## 4. 健康指標一覧

題目	WHOの示す健康指標	西東京市版健康指標
人口統計学及び疫学	総人口	市内総人口
	年齢や性別による区分	3区分人口(生産年齢人口)
	民族の分布状況	外国人人口及び住民基本台帳人口に占める割合
	出生率	—
	合計特殊出生率	合計特殊出生率
	死亡率	65歳以上健康寿命
	発生率(罹患率)	—
	- 伝染性疾患	—
	- 非伝染性疾患	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合
	- 傷害/事故	市内で発生した交通事故の件数
	- 犯罪	市内の指定重点犯罪認知件数
	- 身体障害	障害者手帳登録者数
	- 自殺率/労働災害	自殺死亡率
	健康と幸福に対する満足度	健康教育(講座)の参加者数 自立している高齢者の割合 西東京市に住み続けたい、住みたいと思う人の割合
	個人の健康を阻害する要因	—
	- 予防接種率	各種予防接種率
	- 栄養	適正体重を維持している人の割合
	- アルコールや薬物	飲酒習慣のある人のうち、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒する人の割合
	- 喫煙	喫煙率
	- 運動	スポーツ施設利用者数
- 検診受診率(がん)	がん検診受診率	
- DV(ドメスティックバイオレンス)	配偶者等から暴力を受けたときに、市の相談窓口にご相談した人の割合	
都市の特性	歴史	—
	文化	文化財の調査研究による新たな指定等の延べ件数
	気候	市の気候(気温等)
	地形	市の地形(事実関係)
物理的環境	環境特性	—
	- 大気	大気汚染測定状況
	- 水	石神井川、白子川の水質
	- 騒音	市内道路及び交差点の等価騒音・振動レベル調査結果
	- 土壌	—
	風景	無電柱化路線整備率 補助金の交付を受けて造成された生垣等の長さ(累計)
	緑被率・公園	市民一人当たりの公園面積 農地面積

題目	WHOの示す健康指標	西東京市版健康指標	
生活環境	安全な飲料水の確保	—	
	住宅設備の適切さ	助成金の交付を受けて耐震診断・耐震改修等(耐震化)された戸数	
	居住空間の広さ	1住宅当たりの住宅延べ床面積 市民一人当たりの住宅床面積	
	ホームレスの存在率	—	
	食品衛生	—	
	昆虫やネズミ駆除	—	
	汚水処理	公共下水道(汚水)の普及状況	
	廃棄物処理	ごみ排出総量 一人当たりのごみ収集量(ごみ原単位)	
	廃棄物収集のサービス提供範囲	ごみ収集品目数	
	リサイクル	資源化率	
都市基盤	都市計画(地区計画)に関すること	都市計画道路整備率 地区計画決定数(累計)	
	主要な交通手段	市内駅数、鉄道運行本数 バス停留所数、バス運行本数 駅周辺の自転車駐車場収容可能台数 市道への自転車ナビマーク・ナビラインの整備路線数	
	公共交通機関の利便性	市内5駅の一日当たりの乗降客数(総数及び定期外) はなバスの輸送人員	
	通信手段及び情報技術の整備率	市内の公衆無線LAN設置箇所数	
	公共のメディアの利用	市ホームページの閲覧数	
	地域社会と地方自治体の組織に関すること	— ボランティア・市民活動センター登録者数 介護支援ボランティアのポイント付与延べ人数 公園ボランティア登録会員数 企業・大学・NPOなどとの協働事業等の数 地域教育協力者活用事業数	
	組織機構における各部門間の相互連携活動の説明及び評価	—	
	施設の稼働率に関すること	—	
	組織とサービス	- 病院	医療施設数 病床(ベッド)数 保育施設の待機児童数
		- 地域健康施設(母子、障害者、高齢者介護)	学童クラブの定員超過率 介護利用率(給付費/利用限度額) 地域活動支援センターの登録者数、利用延べ人数、相談延べ件数
- 学校		小、中学校の児童生徒数 学級数 ※特別支援学級を含む	
- コミュニティ・センター		市民交流施設の利用件数、利用人数 福祉会館等の利用延べ人数 公民館事業への参加者数 図書館資料の貸出者数	
- スポーツ施設		スポーツ施設利用者数、利用団体数	
環境衛生施策		—	
- 食品検査		—	
- 実行と監視の基準		—	

題目	WHOの示す健康指標	西東京市版健康指標
経済的環境	地域経済活動が健康に与える影響の評価	—
	- 主な産業 / ビジネス	市内事業所数 市内従業員数 創業者数(累計) チャレンジショップを利用した事業者の件数(累計)
	- 経済の健全性	法人市民税 個人市民税課税所得(総額、納税義務者一人当たり)
	- 開発のレベル	—
	社会的ストレスの原因	睡眠による休養を取れている人の割合
社会的環境	社会的支援の仕組みまたはネットワークに関すること	—
	- 家族 / 世帯	「出産・育児などの子育て支援環境の充実」に対する市民満足度(子どもがいる市民) 子ども相談室ほっとルームの認知度(子ども) 生活困窮者自立支援の取組により就労した人数
	- コミュニティ	自治会・町内会等の加入世帯数 地域協力ネットワークの参加団体数 防災市民組織の数 ふれあいのまちづくり地域活動拠点の利用登録団体数、延べ利用者数、延べ利用回数 地域福祉推進員(ほっとネット推進員)の登録者数 ささえあい協力員・ささえあい訪問協力員の登録者数
	- 文化	市民文化祭の来場者数及び参加者数
	- 男女関係	女性相談件数 男女平等推進センター「パリテ」登録団体数 ハンサムママプロジェクト参加者数、満足度
	病気の予防と制御	—
	病院、学校、職場、市場など	—
法規制	食品衛生、建築、住宅	—
	廃棄物管理、飲料水	—
	大気、水、騒音、土壌など	—

## 5. 主要計画体系図



資料編

資料編

## 6. 中学生が描いた市民憲章をイメージしたイラスト

	氏名	学校・学年	市民憲章（イメージ）・タイトル・メッセージ
	清水 俊甫	柳沢中学校 3年生	(たがいに助けあう 優しいまち) 「いこいーなと浮かぶ、笑顔の西東京市」 市内で地域の輪が広まることで、年齢層や同じ学校、仕事場などに関わらず、誰もが身近にふれ合えるのと同時に、現存する市内のイベントや活動を、皆で助け合いながら、さらに活発に行えるまちになってほしいです。
	前田 葵	田無第一中学校 3年生	(たがいに助けあう 優しいまち) 「わたしからあなたへ」 私はこの西東京市が10年後、老若男女を問わず、互いが互いを支え合い、そして助け合っていく、そんな温かくてやさしさのある笑顔あふれるまちになってほしいと考えました。
	前田 芽里	田無第二中学校 3年生	(たがいに助けあう 優しいまち) 「駅前の平和」 10年後の西東京市は、思いやりのある平和な地域だと良いと思います。性別や年齢の垣根を越えて様々な形の助け合いに溢れ、皆が平和に豊かな日々を過ごせるまちになってほしいです。
	荒井 真凜菜	青嵐中学校 2年生	(みどりに満ちた 美しいまち) 「綺麗な緑は心も満ちす」 私の思う西東京市の魅力は、豊かな自然だと思います。 10年後の西東京市も、ずっと自然豊かな市でいてほしいと願っています。
	斉藤 潤	田無第三中学校 2年生	(みどりに満ちた 美しいまち) 「みどりのあふれる街」 僕の絵では、ビルの街の中に、たくさんの植物を描きました。この絵までとはいきませんが、西東京でも、みんなが自然を大切に、より気軽に自然と触れ合えるような都市になってほしいです。

	氏名	学校・学年	市民憲章（イメージ）・タイトル・メッセージ
	高橋 朱和	明保中学校 2年生	(ゆめの広がる 楽しいまち) 「市の中心」 私は西東京市が明るく人の良い町だと感じています。そんな町で育つ子供たちが大きな夢を抱けるようにと思い、花を子供、木を夢にみだて、この大きな木のように夢が育っていく町という意味合いでこの絵を書きました。
	羽田 きお	保谷中学校 3年生	(ゆめの広がる 楽しいまち) 「豊かな夢」 私は今も西東京市という町が好きです。そんな西東京市の10年後はもっと子供達がのびのびと夢を追うことができる町になって欲しいと思います。その想いを色んな子供達を描くことで表現してみました。
	坂巻 愛梨	田無第四中学校 3年生	(こころ豊かな 学びあいのまち) 「これはどう？」 これまでワークショップやこの冊子等、子供達が西東京市にふれることはあると思います。ですが10年後は市内の全員が西東京市について学び、考え、つくっていく、この市が大好きだと思えるまちになってほしいです。
	遠山 楓	ひばりが丘中学校 2年生	(こころ豊かな 学びあいのまち) 「豊かなまち 西東京市」 10年後は、今以上に平和で暮らしやすいまちになってほしいです。お互いの意見を尊重し、学びに繋がれるようになれば、西東京市はより良いまちになると思います。イラストには、平和を象徴する鳩を描きました。

西東京市  
第3次基本構想・基本計画  
2024-2033

令和6（2024）年3月

西東京市 企画部企画政策課  
〒188-8666 西東京市南町五丁目6番13号

